

# 事務事業評価表

## 1. 基本事項

作成日 令和06年06月11日(火)

事務事業		自然保護事業		担当課	環境課	担当係	環境保全係	管理番号	39211	
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	3	人と自然にやさしいまちづくり	根拠法令 個別計画等	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律、特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律、埼玉県アライグマ防除実施計画、深谷市河川浄化美化活動推進奨励金交付要綱					
	小項目	1	自然・生活環境の保全							
	主要プロジェクト									
事業概要		本事業は、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律に基づく有害鳥獣の捕獲許可事務、特定外来生物法により埼玉県が環境省から確認を受けた埼玉県アライグマ防除実施計画に基づくアライグマの防除、クビアカツヤカミキリの防除及び河川浄化活動の支援を行う事業である。								
目的 ※何のために		生態系の保護及び自然環境の保全を図るため。								
対象 ※誰・何を対象に		アライグマ等により被害を受けている市民、河川浄化活動を行う団体								
手段 ※どのように		法令に基づく許可（有害鳥獣捕獲許可）、クビアカツヤカミキリの防除、箱わな設置によるアライグマ捕獲及び河川浄化活動への奨励金の交付を行う。								
成果 ※何を求めるか		野生鳥獣の適正管理、アライグマ等の防除及び河川の浄化を図る。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額（円）		
		一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	7	公害対策費	自然保護事業	1,315,858
本事業の 主な業務		・鳥獣の捕獲等許可等の事務					・			
		・アライグマの防除					・			
		・クビアカツヤカミキリの防除					・			
		・河川浄化活動の支援					・			
		・					・			
		・					・			

## 2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		アライグマ等防除 有害鳥獣捕獲許可事務 河川浄化活動の支援	アライグマ等防除 有害鳥獣捕獲許可事務 河川浄化活動の支援	アライグマ等防除 有害鳥獣捕獲許可事務 河川浄化活動の支援			
事業費	予算（現額）	1,673,000	1,388,000	1,363,000	7,017,000		
	決算額	1,272,586	1,315,858	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	1,272,586	1,315,858	1,363,000	4,676,000	
		地方債	0	0	0	0	
		他特定財源	0	0	0	0	
		一般財源	0	0	0	2,341,000	
人件費	従事職員数（人）	2.72	2.68	2.68	2.68		
	人件費相当試算※	21,405,196.00	21,467,243.00	22,407,212.00	22,407,212.00		
総事業費試算		22,677,782	22,783,101	23,770,212	29,424,212		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	アライグマ被害相談件数	目標値	件							
		実績値		1,086.00	1,012.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			被害の発生件数は予測できないため、目標値設定はできない。/アライグマ台帳の相談件数						
	実績値の算出式									
活動指標 2	河川浄化活動年間回数（申請した団体の合計活動回数）	目標値	回							
		実績値		16.00	20.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			各団体が自主的に実施するため、市で目標設定できない。 / 実績報告書の活動回数						
	実績値の算出式									
活動指標 3	河川浄化活動参加者数	目標値	人							
		実績値		468.00	587.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			各団体が自主的に実施するため、市で目標設定できない。 / 実績報告書の参加者数						
	実績値の算出式									
成果指標 1	アライグマ捕獲頭数	目標値	頭							
		実績値		765.00	672.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			アライグマの頭数は予測できないため、目標値設定はできない。 / アライグマ台帳の捕獲数						
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。  
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移	
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	河川浄化団体が年間を通じて清掃、美化、啓発等を実施しており、多くの市民が参加している。コロナ禍も終わり、参加者及び活動数が徐々に回復している。 アライグマは相談に応じて箱罠の設置を行い、適切な防除を行っている。クビアカツヤカミキリについては相談を受けた箇所に対して現場確認、薬剤の注入などの対策を確に行っている。	
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	アライグマの捕獲頭数は高い水準で推移しており、地域内の生息数の減少に寄与していると考えられる。	
			評価者	環境保全係長 佐藤 秀和

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由	
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	アライグマの捕獲は効率的に行われている。 河川浄化団体の活動も効率的に行われている。	
			評価者	環境保全係長 佐藤 秀和

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和4年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	アライグマの根絶は引き続き直営により実施していく。 クビアカツヤカミキリについては、被害箇所を把握し、適切に対応していく。 河川浄化活動の支援を継続していく。
達成状況及び その効果	アライグマは、直営による素早い対応で被害相談に的確に対応できている。 クビアカツヤカミキリは被害対応台帳から市内の発生箇所を的確に把握している。 コロナ禍により減少した河川浄化団体の活動回数及び参加者数は、令和5年度でやや回復した。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	自然保護事業	担当課	環境課	担当係	環境保全係	管理番号	39211
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		アライグマの防除に関しては、増加数に対策が追いついていない状況と考えられ、さらなる捕獲圧の強化が必要である。 クビアカツヤカミキリ対策は、現状からさらに効果的な対策がないか試行錯誤していく。 河川美化浄化活動に関しては、現状の支援を継続していく。					
		評価者	環境水道部次長兼環境課長 洪澤 滝人				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和6年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	アライグマの防除に関しては、市内からの根絶を目指し、箱罠を追加して捕獲圧を強めていく。 クビアカツヤカミキリ対策は、吹き込み式スプレーを使った防除やワイヤーを使った幼虫の刺殺など、より効果的な方法を試行錯誤していく。
令和7年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	アライグマ、クビアカツヤカミキリ対策については、国県等の動向を注視し、適切に対応していく。 河川浄化活動は、適切な支援を行っていく。

8. 評価指標グラフ

